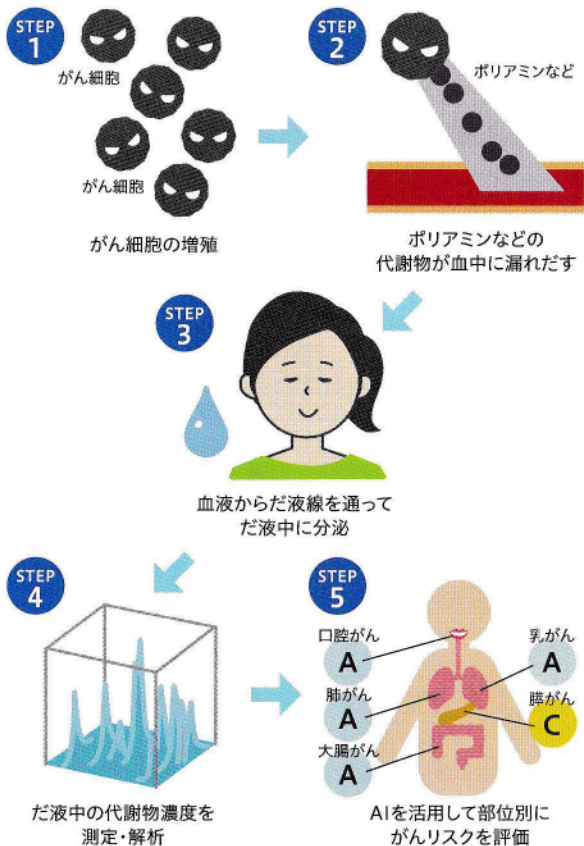


# どうしてだ液でがんのリスクがわかるの？

## がん細胞からしみ出す代謝物がだ液に表れるからです。

だ液中の成分の大部分は血液由来です。がん細胞からしみ出す代謝物は血管を通り、だ液中に表れます。

サリパチェッカーはこれらの代謝物を測定し、AI(人工知能)を利用して、被検者の方の代謝物のパターンががんの方とがんでない方のどちらに似ているかをがんの種類ごとに評価します。



# なぜだ液を使うの？

## 代謝物の研究成果とだ液ならではの利便性

代謝物研究で、血液、尿、だ液などを調べたところ、がんの方ががんでない方を見分ける上で、だ液のデータが最も優れていました。

だ液はどこでも採取可能で、採取しても身体に負担がないため、がんの早期発見に適していると考えました。



**侵襲性 低**

痛くない、  
身体に負担がない

だ液

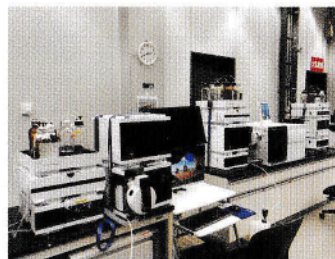
**利便性 高**

面倒でない  
どこでも採取可能

## 最先端のバイオテクノロジー 研究拠点で開発

サリパチェッカーを開発した株式会社サリパテックは、慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果をもとに、医療分野での応用と技術開発を進めています。研究施設が隣接する鶴岡市先端研究産業支援センター

を拠点に事業を展開しています。



写真提供：  
アジレント・テクノロジー